

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : 酸素系洗剤GPSEC 1「starter」  
会社名 : 株式会社IMS総研  
住所 : 〒168-0074 東京都杉並区上高井戸1-22-12  
電話番号 : 03-5317-7820  
FAX番号 : 03-5316-6912  
緊急連絡 : 同上  
推奨用途 : 洗剤

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

##### 【物理化学的危険性】

可燃性固体 : 区分外  
自然発火性固体 : 区分外  
自己発熱性化学品 : 区分外  
水反応可燃性化学品 : 区分外  
酸化性固体 : 区分3

##### 【健康有害性】

急性毒性(経口) : 区分5【国連GHS分類】  
急性毒性(吸入、粉じん) : 区分4  
眼に対する重篤な : 区分1  
損傷性又は眼刺激性  
皮膚腐食性・刺激性 : 区分1C  
特定標的臓器・全身毒性 : 区分3(気道刺激性、麻酔作用)

##### 【環境に対する有害性】

水生環境急性有害性 : 区分3

##### 【危険有害性情報】

飲み込むと有害のおそれ(経口)  
吸入すると有害(粉じん)  
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
水生生物に有害  
呼吸器への刺激のおそれ  
眠気またはめまいのおそれ

#### 注意書き

##### 【安全対策】

使用方法、容量を守り、用途以外に使用しないこと。  
作業時は手袋、マスク、保護用メガネ、帽子などの着用を推奨すること。  
ジップの開閉は慎重に行い、粉の拡散に注意すること。  
塩素を含むものとの混合は絶対に避け、容器の移し替えもしないこと。  
高温多湿な場所(機械室・ボイラー室など)や直射日光を避け、冷暗所に保管すること。  
乳幼児の手の届かない場所に保管すること。

##### 【応急処置】

誤使用、誤飲などの事故防止のため、保管場所に注意すること。  
眼、口、鼻に入った場合、洗浄等の応急処置を行い、直ちに医師に相談すること。  
受診の際は本製品(容器ごと)を持参すること。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
化学名 : ペルオキシ炭酸ナトリウム(別名:過炭酸ナトリウム)、炭酸ナトリウム  
適用法令成分 : なし  
その他の成分  
「ペルオキシ炭酸ナトリウム」

成分及び含有量 : 炭酸ナトリウム・過酸化水素付加物  
80%以上  
CAS No : 15630-89-4  
EC No : 239-707-6  
官報公示整理番号 : (1)-164 (炭酸ナトリウム)、(1)-419 (過酸化水素)

「炭酸ナトリウム」

成分及び含有量 : 炭酸ナトリウム  
10~15%  
CAS No : 497-19-8  
EC No : 207-838-8  
官報公示整理番号 : (1)-164

---

#### 4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
気分が悪い時は、医師の治療を受ける。

皮膚に付着した場合 : 直ちに皮膚を多量の水と石鹼で洗う。  
皮膚刺激が生じた場合は医師の手当てを受ける。  
汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。

目に入った場合 : 直ちに医師に連絡する。  
直ちに、清浄な水で15分以上注意深く洗う。その際、顔を横に向けてから  
ゆっくり水を流す。水道の場合、弱い流れの水で洗う。勢いの強い水で洗浄  
するとかえって目に障害を起こすことがあるので注意する。  
まぶたを親指と人差し指で拵げ目を全方向に動かし、眼球、まぶたの  
隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。  
コンタクトレンズを着用していて固着していなければ除去し、洗浄する。  
目の洗浄が遅れたり、不十分の場合は、目の障害の恐れがある。  
目の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。

飲み込んだ場合 : 直ちに、口をすすぎ、うがいをする。無理に吐かせてはいけない。  
吐かせると再び喉や食道を通り、二重に刺激・損傷を受けることとなる。  
直に牛乳や卵を飲ませて毒性を希釈する。  
牛乳や卵がない時は、コップ数杯の水を飲ませ、体内で毒性を薄める。  
意識がない時は、何も与えない。もし、嘔吐が自然に生じた時は、気管への  
吸入が起きないように、頭を尻より下に身体を傾斜させ、肺への還流を防ぐ。  
嘔吐後、意識が戻れば、水を飲ませる。体の保温に努め、速やかに医師の  
診察を受ける。

予想される急性症状  
及び遅発性症状 : 吸入した場合、咳、咽頭痛  
皮膚に付着した場合、発赤  
目に付着した場合、発赤、痛み  
経口摂取した場合、灼熱感、吐き気、嘔吐

---

#### 5. 火災時の措置

消火剤 : 本品は不燃性である。

使ってはならない消火剤 : 粉末、二酸化炭素、泡消火剤は無効。棒状放水は禁止。(本品があふれ出し、  
生物に対する有害性や環境汚染を引き起こす恐れがある)

特有の危険有害性 : 火災中に刺激性、毒性又は腐食性のガスを発生させる可能性が有る。  
消化水は環境汚染を引き起こす恐れがある。

特有の消化方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。  
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

消化を行う者の保護 : 有毒ガス等の接触を避けるため、消化作業の際は風上から行い、  
空気呼吸器、化学用防護服(耐熱性)を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- : 漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。
- : 漏洩エリア内に立ち入る時は、保護具を着用する。
- : 風上から作業し、粉じん、蒸気、ガスなどを吸入しない。
- : 粉じんが飛散する場合は、水噴霧し飛散を抑える。
- : 密閉された場所に立ち入る時は、事前に換気する。

### 環境に対する注意事項 回収、中和

- : 河川、下水道、土壌に直接排出されないように注意する。
- : 漏洩物を掻き集め、密閉できる空容器に回収する。
- : おがくず他は可燃性物質に吸収してはならない。
- : 回収した漏洩物は、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。
- : 後処理として、漏洩場所は大量の水を用いて洗い流す。

### 封じ込め及び浄化の方法 二次災害の防止策

- : 危険でなければ漏れを止める。
- : 可燃物(木、紙、油等)は漏洩物から隔離する。
- : 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
- : すべての発火源を速やかに取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

---

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

### 【取扱い】

#### 技術的対策

- : 可燃物との接触禁止。
- : 本製品を取り扱う場合、保護具の着用を推奨する。
- : 粉じんの発生、堆積を防止する。

#### 局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項

- : 換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行う。
- : すべての安全注意を読み、理解するまで取扱わない。
- : 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
- : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
- : 取扱い後はよく手を洗う。

#### 接触回避

- : 湿気、高温体との接触を避ける。

### 【保管】

#### 技術的対策 保管条件

- : 保管場所は、製品が汚染されないように清潔にする。
- : 吸湿性があるので、容器を密閉して乾燥した場所に保管する。
- : 直射日光や高温多湿を避け、冷暗所に保管する。
- : 可燃物、混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。
- : 熱や燃焼性物質から離して保管する。

#### 混触危険物質 容器包装材料

- : 可燃性物質、金属粉末、還元性物質、強酸、金属マグネシウム、五酸化リン
- : ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラス等

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

#### 管理濃度

- : 設定されていない。

#### 許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標):

- 日本産衛学会(2017年版) : 設定されていない。
- ACGIH(2017年版) : 設定されていない。

#### 設備対策

- : 粉じん、蒸気、ガスなどが発生する場合、換気装置を設置する。

### 【保護具】

#### 呼吸器の保護具

- : 呼吸器保護具(防じんマスク)の着用を推奨する。
- : 火災時は酸性ガス用防毒マスクを着用する。

#### 手の保護具

- : 保護手袋(塩化ビニル製、ニトリル製など)の着用を推奨する。

#### 目の保護具

- : 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)の着用を推奨する。

#### 皮膚及び身体の保護具

- : 長袖作業服の着用を推奨する。
- : 必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。

#### 衛生対策

- : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
  - : 取扱い後は良く手を洗う。
-

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	: 白色の粉末、または結晶
臭い	: 無臭～微特異臭
pH	: 10.0～11.0
融点	: 851℃
沸点	: 分解
引火点	: 不燃性
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
密度	: データなし
溶解度	: 水に溶けやすい エタノール、グリセリンにほとんど溶けない
オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: 不燃性
分解温度	: データなし
粘度	: データなし

### 【GHS分類】

酸化性固体 : 酸化性物質(区分3)

---

## 10. 安定性および反応性

安定性	: 通常取り扱い条件について安定である。 空気中の二酸化炭素を吸収して炭酸水素ナトリウムに変化する。 吸湿性があり、空気中の水分を吸収して一水和物に変化する。
危険有害反応可能性	: 強酸と混触すると反応し、二酸化炭素を発生する。 マグネシウムまたは五酸化リンと反応し、爆発の危険をもたらす。 アルミニウム、亜鉛、銅を腐食する。
避けるべき条件	: 熱、日光、空気(Co2)、湿気
混触危険物質	: 強酸、金属マグネシウム、五酸化リン、可燃性物質、金属粉末、還元性物質
危険有害性のある分解生成物	: 酸素、過酸化炭素、オゾンガス また、燃焼等で強熱分解すると、一酸化炭素、二酸化炭素のガスを発生する。

---

## 11. 有害性情報

急性毒性	: 経口 ラット LD50= 2400 mg/kg に基づき、区分5とした(国連GHS分類) ただし、分類JISでは区分外である。 飲み込むと有害のおそれ(経口)(区分5) 経皮 データがないため分類できない。 吸入(蒸気) データがないため分類できない。 吸入(粉じん) データがないため分類できない。
皮膚腐食性・刺激性	: 本品の水溶液はpH10～11の強塩基性であることから区分1Cとした。 重篤な皮膚の薬傷・目の損傷(区分1C)
目に対する重篤な損傷・目刺激性	: 本品の水溶液は強塩基性であることから、区分1とした。 重篤な目の損傷(区分1)
呼吸器感作性	: データがないため分類できない
皮膚感作性	: データがないため分類できない
生殖細胞変異原性	: データがないため分類できない
発がん性	: IARC、ACGIH、NTP、EPAに記載がないため分類できない。
生殖毒性	: 情報がなかったため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	: データがないため、分類できない。
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	: データがないため、分類できない。
吸引性呼吸器有害性	: 情報がなかったため分類できない。

---

## 12. 環境影響情報

- 水生環境急性有害性 : 魚毒性(ファットヘッドミノー) LC50=70.7mg/L/96Hに基づき、区分3とした。  
水生環境慢性有害性 : データ不足により分類できない。  
オゾン層への有害性 : 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

---

## 13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。  
本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。  
汚染容器及び包装 : 内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切に処分する。

---

## 14. 輸送上の注意

### 【国内規制】

- 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、道路法の規定に従う。  
海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。  
航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

### 【国際規制】

- 海上輸送 : IMDGの規則に従う。  
航空輸送 : IATAの規則に従う。

- 緊急時応急処置指針番号 : 140  
国連番号 : 3378  
容器等級 : II  
クラス : 5.1  
特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損・腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
重量物を上積みしない。

---

## 15. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 非該当  
毒物及び劇物取締法 : 非該当  
消防法 : 危険物第1類第三種酸化性固体、指定数量1000kg、危険等級III  
化学物質管理促進法(PRTR) : 非該当  
船舶安全法 : 酸化性物質類・酸化性物質  
航空法 : 酸化性物質類・酸化性物質  
海洋汚染防止法 : 非該当  
水質汚濁防止法 : 生活環境項目(施行令第三条第一項)  
「水素イオン濃度」  
[排水基準] ・海域以外の公共用水域に排出されるもの  
5.8以上8.6以下  
・海域に排出されるもの5.0以上9.0以下  
輸出貿易管理令 : 第28類 無機化学品  
HSコード(輸出統計品目番号、2018年1月1日版): 2836.99-000  
「ペルキオソ炭酸塩(過炭酸塩) -その他のもの」  
HSコード(輸出統計品目番号、2018年4月1日版): 2836.20-100  
「炭酸塩-炭酸二ナトリウム-1ソーダ灰」

## 16. その他の情報

### 参考文献 :

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM	
GHS分類結果データベース	NITE(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHSモデルMSDS情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

- 
- ・この情報は新しい知見に基づき改訂されることがあります。
  - ・記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険性、有害性等については十分な保証をなすものではありません。
  - ・注意事項等は通常の取扱いを対象としたものです。特殊な取扱いの場合には、用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。